

Allegro assai
Baritone Solo

Freu - de, Freu - de, Freu - de, schö - ner

Freu - de! Freu - de!

Allegro assai
Ob.
Clar. dolce
Fag.
Cor.
Archi pizz.
pp
Clar. I

Göt - ter - fun - ken, Toch - ter aus E
Wir be - tre - ten feu - er - trun - ken,

Himm - li - sche, dein Hei - lig - tum!
ne - mau - ber bin - den wie - der, was die Mo - de

streng ge - teilt, al - le Men - schen wer - den Brü - der, wo dein sanf - ter Flü - gel weilt.

Legni

cresc. p

第九



2012春日井市民第九演奏会

とき 2012.11.4 SUN 午後3時開演 春日井市民会館

主催 春日井市、春日井市教育委員会、(公財)かすがい市民文化財団、春日井市民第九演奏会実行委員会

共催 春日井市交響楽団、春日井市民第九合唱団

後援 中部大学、中日新聞社



ごあいさつ
Greeting



春日井市長 伊藤 太

今日は、「2012春日井市民第九演奏会」に御来場いただき、誠にありがとうございます。

この第九演奏会は、春日井市民第九合唱団と春日井市交響楽団をはじめとする関係の皆様方の御尽力により、平成5年12月に市制施行50周年記念事業のひとつとして開催して以来、20回目を迎えることとなりました。これも多くの市民の皆様方から、御支援をいただきました賜物と深く感謝を申し上げます。

また、長きにわたり市民の皆様が親しまれている演奏会として開催されておりますことは、魅力ある市民文化の一層の振興を目指しております本市にとりまして、誠に喜ばしい限りであります。

今回は、幅広いジャンルで多くのファンを魅了されておられる指揮者の井村誠貴氏をはじめ、全国的に活躍中の気鋭のソリストをお招きし、20回目の節目となる演奏会を彩っていただきます。

それでは、「第九」の調べをどうぞ心ゆくまで、ゆっくりとお楽しみください。



2012春日井市民第九演奏会実行委員会会長

中部大学 学監 三浦 昌夫

本年も、恒例の「春日井市民第九演奏会」へお越しいただき、誠にありがとうございます。

今回記念すべき20回目の開催を迎えることの出来た「春日井市民第九演奏会」を振り返りますと、今日まで本当に多くの皆様方のご支援・ご指導があってこそこの思いに、心から感謝するものでございます。

そしてこの20回の節目に指揮者として、井村誠貴さんをお迎えすることが出来ました。多いに期待していただけることと思います。今回はワグナー作曲『ローエングリン』より「エルザの大聖堂への入場」の演奏もお楽しみいただけます。春日井市民第九合唱団と春日井市交響楽団の団員達も新たな緊張感をもって練習に励んでまいりました。春日井市民のための「第九演奏会」の新たなステージが始まろうとしています。

回を重ねながら今までみなさまと感動の舞台をご一緒できたことに、改めて感謝申し上げます。

今回また新たな一歩を踏み出したこの演奏会を、どうぞごゆっくりお楽しみください。



2012春日井市民第九演奏会

指揮者・音楽監督 井村 誠貴

《いまこそ第九を！復興を願う想いを東北に！！》

All Menschen werden Brüder『全ての人々は兄弟になる』。

私達は東日本大震災を受け、人を想い「ふるさと」を想う《絆》の尊さを取り戻そうとしています。

今こそ東北の皆さんと手を携えて、共に前進する時です。第九にはその《力》があります。

『歌う』という言葉の語源は『訴える』です。私達はシラーとベートーヴェンの言葉を借り、本日会場にお越しの皆様だけでなく、今なお被災地で苦しんでいる方々にも『復興』と『絆』を訴えて歌います。

20回目の春日井第九は、ソリスト・合唱団・オーケストラが一つとなって皆様と共に創る第九です。幾度も練習を重ね本番に臨まれる市民の皆様方の熱い想いを客席に届けたい！そして、春日井に新しい時代の幕開けを感じさせる新風を吹き込んで演奏したいと思っております！

Laufet, Brüder, eure Bahn, Freudig wie ein Held zum siegen!

『春日井と共に走り出そう！東北の兄弟たち！復興の道を進む勇者のように！！』



プログラム
Program

ヴィルヘルム・リヒャルト・ワグナー作曲
WILHELM RICHARD WAGNER (1813-1883)

『ローエングリン』より「エルザの大聖堂への入場」 Elsa's Procession to the Cathedral-from "Lohengrin"

ルートヴィヒ・ファン・ベートーヴェン作曲
LUDWIG VAN BEETHOVEN (1770-1827)

交響曲第9番 二短調 作品125 「合唱付」 Symphony No.9 in d-minor op.125 "Choral"

- 第1楽章 アレグロ マ ノン トロッポ, ウン ポコ マエストーソ
1mov. Allegro ma non troppo, un poco maestoso
- 第2楽章 モルト ヴィヴァーチェ
2mov. Molto vivace
- 第3楽章 アダージョ モルト エ カンタービレ
3mov. Adagio molt e cantabile
- 第4楽章 フィナーレ, プレスト-アレグロ アッサイ-レシタティーヴォ-アレグロ アッサイ
4mov. Finale, Presto - Allegro assai - Rezitativo - Allegro assai

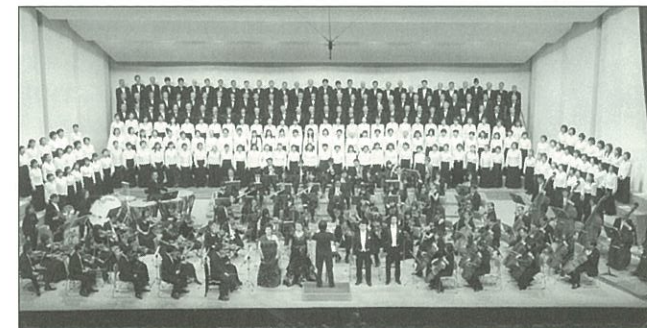


オーケストラ 春日井市交響楽団

市民オーケである春日井市交響楽団は、「第九の演奏会を春日井でも開きたい」という私たち市民の希望から生まれました。市内の音楽愛好家を中心になって、「市民が演奏し、市民が聴く、春日井市民のオーケストラ」が、1990年(平成2年)11月に創立されました。愛称「カポ」(KAPO)は英字名称「KASUGAI CITY PHILHARMONIC ORCHESTRA」の頭文字をとったもので、イタリア語の「カポ」(capo 頭・先頭に立つ者)の思いもあります。

毎年、7月の定期演奏会と12月の「春日井市民第九演奏会」を中心に、数多くのオーケストラ活動を行っています。団員は、会社員・公務員・教員・医師・主婦・学生・自営業者などからなる50名。私たちにあって、最大の喜びは、一人でも多くみなさまに演奏会においていただき、クラシック音楽を好きになっていただくことです。そのために、「春日井で名曲の名演奏を」と心がけています。今年の「第九」も、大いに自信があります。ぜひ、お出かけ下さい。

(団長・稲垣 徹)



合唱 春日井市民第九合唱団

春日井市民第九合唱団は、春日井市民第九演奏会のために、一般市民により編成された合唱団です。平成5年、春日井市市制50周年を記念して開催された、ベートーヴェン作曲交響曲第九番の春日井市初演を期に作られ、今年で20回目の演奏会を迎えております。

毎年公募による新しい団員を含め、総勢250名にも達する大合唱団です。平均年齢は、60歳を超えてやや高いのですが、数年前から中部大学混声合唱団の若い力の応援をいただき、元気に第九を歌っております。6月に市長の出席を仰いで結団式を行い、毎週土曜日、松下伸也先生の優しく丁寧な、また、時にはユーモアを交えた指導のもと、一生懸命練習に励んでおります。慣れないドイツ語の発音に苦勞しておりますが、第九のテーマである「人間はみな兄弟である」という歓びをわれわれ自身も感じながら、演奏会においてくださる皆様方に、少しでもその精神を感じていただこうと精一杯歌います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(団長・須藤章夫)



指揮 井村 誠貴 Masaki Imura

オペラ指揮者。1994年大阪音楽大学コントラバス科卒業。在学中よりオペラ指揮者として各地で研鑽を積み、これまでに菊池彦典氏をはじめ、多くの日本を代表する指揮者のもとでアシスタント・コンダクターとして多くの公演に携わり高い評価を得ている。オペラレパートリーも50演目を越え、主要作品の他にも、オペレッタや邦人作品の初演にも力を注いでいる。中でも喜歌劇楽友協会におけるJ.シュトラウス「ウィーン気質」の邦人初演は注目を集め、高い評価を得ている。2001年には年間オペラ公演回数が日本人では第4位に入るなどオペラ指揮者としての地位を確立。また同年イタリアに留学。現地ではAs.Li.Coの北イタリア・オペラ公演ツアーに同行し、副指揮者として高い評価を得た。管弦楽では、京都フィルハーモニー室内合奏団を中心にコンサートを定期的に行う一方、名古屋フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団、オペラハウス管弦楽団等を客演。また岐阜県交響楽団、大阪市民管弦楽団、京都府立医科大学交響楽団、神戸大学交響楽団、大阪大学交響楽団、大阪市立大学交響楽団等との定期演奏会を客演指揮するなど、アマチュアオーケストラの分野においても貴重な存在となっている。さらに大阪市音楽団、ナゴヤディレクターズバンド等の吹奏楽団との関係も深く、その分野でも注目を集めている。近年はミュージカルにも活動の場を広げ、1999年の「ラ・カージュ・オ・フォール」(市村正親)を皮切りに、「マイ・フェアレディ」(大地真央)、「レ・ミゼラブル」(山口祐一郎)、「ペテン師と詐欺師」(鹿賀丈史)、「The Musical AIDA」(安欄けい)、「キャバレー」(藤原紀香)のロングラン公演を成功させライブCD及びDVDを発売。また、岩崎宏美や、夏川りみ、佐々木秀実らの実力派シンガーとの共演も多く、コンサートでの軽妙なトークも話題となっている。その活動の幅は指揮活動だけでなく、オペラ演出、企画構成、さらには編曲者としての活動も著しく、マルチな才能を発揮。2011年には、「岐阜3000人の第九」を成功に導くなど、多方面で大きな役割を担っている。クラシック音楽にとらわれない幅広いジャンル、年間200公演近くに及ぶ実績と、繊細且つダイナミックな指揮は、多くのファンを魅了し続けている。指揮を、湯浅勇治氏をはじめ、松尾葉子、広上淳一、辻井清幸の各氏に師事。現在、オーケストラMFI指揮者。



ソプラノ 並河 寿美 Hisami Namikawa

大阪音楽大学大学院オペラ研究室修了。神戸・灘ライオンズクラブ音楽賞、兵庫県芸術奨励賞、音楽クリティッククラブ賞、他受賞。「ドン・ジョヴァンニ」「イドメネオ」「コジ・ファン・トゥッテ」「ファルスタッフ」「ドン・カルロ」「仮面舞踏会」「カヴァレリア・ルスティカーナ」「外套」「メリー・ウイドウ」「マリア・ストゥアルダ」「ラ・ファヴォリータ」のほか、「修道女アンジェリカ」「カルメン」「ルサルカ」他多数にタイトル・ロールで出演。新国立劇場「おさん〜心中天網島より〜」(世界初演)おさん、「蝶々夫人」蝶々夫人で出演。また東京都交響楽団コンサートオペラ「トスカ」において故ヴァンチェンツォ・ラ・スコラ氏と共演。びわ湖ホール・神奈川県民ホール共同制作公演「トゥーランドット」「アイダ」(沼尻竜典指揮、栗国淳演出)、「タンホイザー」(沼尻竜典指揮、ミヒヤエル・ハンベ演出)に出演。セントラル愛知交響楽団第100回記念定期演奏会「フィデリオ」(齋藤一郎指揮)にレオノーレ、東京アカデミッシュカペレ「さまよえるオランダ人」ゼンタ、兵庫県立芸術文化センター「蝶々夫人」「魔笛」「メリー・ウイドウ」「トスカ」に出演し、各方面より好評を得る。更にズービン・メータ指揮によるNHK交響楽団ベートーヴェン交響曲第9番、大野和士「サントリー音楽賞受賞記念演奏会」マラー交響曲第2番「復活」(大野和士指揮東京フィルハーモニー交響楽団)のソリストを務め、いずれも好評を博す。その他、コンサートでは、モーツァルト「レクイエム」、ハイドン「四季」、メンデルスゾーン「エリア」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」、ベートーヴェン「荘厳ミサ」、ドヴォルザーク「スターバト・マーテル」、ヴェルディ「レクイエム」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」他のソリストを務める。リリコ・スピンドでありながらも、強さの中にドラマを描ける表現力を持つ稀有な存在であり、今後益々の飛躍が大いに期待されている。東京二期会会員。大阪音楽大学准教授、愛知県立芸術大学非常勤講師。



アルト 河村 典子 Noriko Kawamura

愛知県春日井市出身。幼少よりピアノを習い、高校から声楽を志し多治見西高校(音楽科)を経て、東京音楽大学声楽演奏家コースで学び、東京芸術大学声楽科卒業。二期会歌手基礎コース第6・7期終了。二期会オペラ研修所第53修了。ドイツ・ヴァインハイムにて研鑽を積む。第12回長江杯国際音楽コンクール第4位入賞、第3回近・現代音楽コンクール銅賞受賞、第26回コンセル・ヴィヴァン新人オーディション優秀賞受賞。第18回及川音楽事務所・最優秀新人賞(第1位)受賞。コンサートはこれまでに、二期会・歌手基礎コース10周年記念コンサートにオーディションによる選抜で出演、中部大学主催「山田和夫記念演奏会〜若い木のコンサート〜」等、東京と愛知で演奏活動を展開している。2011年5月には、地元愛知で初リサイタルを開催。2012年2月には指揮木村康人、ICU国際基督教大学主催にて第9回アルトソロを努め、4月にはあらかわバイロイト「魔笛」侍女3に出演する。9月には指揮木村康人、演出今井伸昭による「カルメン」タイトルロールに出演。オペラではセヴィリアの理髪師ロジーナ、アルジェのイタリア女イザベラ、薔薇の騎士オクタヴィアン、カルメン等演じる。近年は日本歌曲に積極的に取り組み、メゾソプラノの奥深い音色で毎回好評を得ている。これまで声楽を島崎智子、前澤悦子、フランス語指導を松野良子、発声を穂積磨矢子の各師に師事。現在、日本演奏家連盟会員。



テノール 松本 薫平 Kunpei Matsumoto

京都市立堀川高等学校音楽科(現、京都市立京都堀川音楽高等学校)を経て、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。高橋大海氏に師事。大学卒業後、渡伊。フィオレンツァ・コッソット、イーヴォ・ヴィンコ、エディット・マルテッリ、ダンテ・マッソーラの各氏に師事。1999年関西二期会35周年記念オペラ「ラ・ボエーム」のロドルフォでデビューし、その後「蝶々夫人」「ピンカートン」「カルメン」「ドン・ホセ」「カヴァレリア・ルスティカーナ」「トゥリッドゥ」「ランメルモールのルチア」「エドガルド」「椿姫」「アルフレード」「リゴレット」「マントヴァ公爵」「外套」「ルイーダ」「トロヴァトーレ」「マンリーコ」「ドン・カルロ」「ドン・カルロ」「オテロ」「オテロ」「アイダ」「ラダメス」「トゥーランドット」「カラフ」「道化師」カニオ、「愛の妙薬」ネモリーノ、「ばらの騎士」テノール歌手、「こうもり」アルフレード、「魔笛」タミーノ、「コジ・ファン・トゥッテ」フェランド、「ドン・ジョヴァンニ」ドン・オッターヴィオ、「マリア・ストゥアルダ」レスター伯ロベルト、「ラ・ファヴォリータ」フェルナンド、「ランスへの旅」リーベンスコフ伯爵、「ピーア・デ・トロメイ」ギーノ、「沈黙」モキチなどに出演。ルーマニア、トゥルグムレシュで開催された「冬の音楽祭」ではカヴァレリア・ルスティカーナ(演奏会形式)のトゥリッドゥで出演し、好評を得る。ベートーヴェン「交響曲第9番」をはじめ、ヴェルディ「レクイエム」、プッチーニ「グローリア・ミサ」、マラー「交響曲第8番」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」などのソリストとしても活躍。第27回イタリア声楽コンクールソテノール特賞、第12回摂津音楽祭金賞及び大阪府知事賞、第17回飯塚新人音楽コンクール第3位、第8回ABC新人コンサートオーディション最優秀賞、第2回松方ホール音楽賞選考委員奨励賞、第13回宝塚ベガ音楽コンクール第3位、第74回日本音楽コンクール入選。平成13年度兵庫県芸術奨励賞、平成16年度神戸市文化奨励賞、平成20年度咲くやこの花賞、第4回神戸キワニス文化賞など受賞。現在、神戸女学院大学准教授。関西二期会会員。



バリトン 田中 勉 Tsutomu Tanaka

大阪音楽大学大学院歌劇専攻修了。第1回JSG国際歌曲コンクール入選聴衆特別賞受賞。第22回なにわ芸術祭 新人奨励賞。第20回音楽クリティック・クラブ本賞。大阪舞台芸術賞本賞受賞。大阪府和泉市文化功労賞。オペラの振り出しは「フィガロの結婚」その後「賢い女」「宮廷楽士長」「イタリアのトルコ人」「コシ・ファン・トゥッテ」「道化師」「スザンナの秘密」「赤い陣羽織」「こうもり」「ピーター・グライムズ」「子供と魔法」「カルメル会修道女の対話」「修禅寺物語」「ファルスタッフ」1990〜1991年文化庁芸術家在外派遣研修員としてウィーン国立音楽大学に留学。帰国後「椿姫」「ラ・ボエーム」「リゴレット」「ハルカ」「蝶々夫人」「トロヴァトーレ」「アイダ」「夜間飛行」「フィデリオ」「源氏物語」「夕鶴」「エウゲニ・オネーギン」「道化師」「アドリアーナ・ルクヴルール」「沈黙」「モモ」「散華」「トゥーランドット」など。その他、オラトリオのソリストとしても全国的に活躍中。2010「リゴレット」の演唱に対しては文化庁芸術祭優秀賞を受賞。現在、大阪音楽大学教授、同大学院オペラ・歌曲研究室主任。関西歌劇団理事。日本シュベルト協会会員。



客演コンサートマスター
平光 真彌

愛知県立芸術大学音楽学部卒業。同大学大学院音楽研究科修了。中村桃子賞受賞。ヴァイオリンを青山泰宏、大久保ナオミ、福本泰之、E.ダネル、岡山芳子の各氏に師事。第11回日本クラシック音楽コンクール弦楽器部門大学生の部全国大会第3位。第1回宗次ホール弦楽四重奏コンクール第1位。併せて、聴衆賞、オーナー賞を獲得。小淵沢室内楽セミナーにて最優秀カルテットとして「緑の風 音楽賞」及び講師特別賞受賞。愛知室内オーケストラコンサートマスター。Mens La、Quartett ATOMメンバー。愛知県立芸術大学非常勤講師。



合唱指導
松下 伸也

愛知県立芸術大学声楽専攻卒業、同大学院修了。大学在学中より演奏活動を開始し、これまでにフィガロの結婚、カルメン、こうもり等のオペラに主要キャストとして出演する。また、リサイタルではドイツ歌曲(シュベルト・シューマン等)をレパートリーとして研鑽を積んでいる。コンサートにおいてもシュッツやモンテヴェルディの初期バロックから第九、メサイア、ミサ曲等のソリストをつとめる。これらの演奏家としての経験を活かし、男声合唱団、女声アンサンブル、大学混声合唱団等の指揮・指導にあたる。第九指導においては瀬戸第九合唱団、愛環音楽連盟、西尾市市制50周年記念行事、垂井町(岐阜県)等の団体に招聘され指導している。

発声指導 中須賀悦子 村島 増美
ピアノ伴奏(合唱団) 竹内 理恵 水野 みか 川上 唯奈 松永祐未子 榛葉 邦江 佐藤真由美

みんなで歌おう、春日井賛歌を……

< 歓喜の歌 >

作詞●なかにし礼

1. あいこそ かんきに みち
びく ひーか り さえぎ る
くなんを こえて すすーま
ん かんきの いたーだき
ふみーし めたと きわーれ
らは きょう だーい せか いは ひーと
つかんきの いたーだき ふみー
しめたと きわーれ らは きょう
だーい せか いは ひーと つ

1. 愛こそ歓喜にみちびく光
さえぎる苦難を越えて進まん
歓喜の頂いただき踏みしめた時
我らは兄弟世界は一つ
歓喜の頂いただき踏みしめた時
我らは兄弟世界は一つ

2. 気け高だかき乙女を勝ち得たものよ
手を取りかんこ歓呼の叫びをあげよ
人間一人で何が出来よう
愛なき孤独の人は立ち去れ
人間一人で何が出来よう
愛なき孤独の人は立ち去れ